

(様式2(1))

事業所名 グループホームあかとんぼ

作成日: 令和 8年 3月 6日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要 する期間
1	6	委員会では、拘束・虐待事例、行動制限・不適切ケアにつながる事例の有無の確認や検討を行うことが望まれる。「虐待・身体拘束防止委員会」・「運営会議」等議事録や、訓練時の「行動表(計画書)」・「消火訓練結果」等について、回覧等で共有を図っているが、確認印等で職員の周知を明確にする仕組み	運営会議の中で身体拘束適正化委員会を位置づけ、身体拘束をしないケアの実践、虐待の防止の徹底について全職員に周知徹底するためにきめ細やかな状況報告、課題検討を行い記録していく。	運営会議の中において身体拘束適正化委員会を位置づける。研修会、勉強会、運営会議にて再々身体拘束をしないケア、虐待防止の徹底を図っているが議事録の整備と職員への周知の徹底を図れる系統立てた議事録を別途整備する	12ヶ月
2	23	入居時に把握した内容を「入居者個人情報」の「特記事項」欄、または、記録様式に記録し、入居後に得た情報は追記しながら、人物像の把握や個別支援につなげることが望まれる。	入居者様の三側面(身体・精神・社会)に關してもう少し踏み込んだ情報把握ができる。	個人情報シートに関して整備して行っているが、日々関わりの中、事細かく把握した情報を担当スタッフのみならず全てのスタッフが気軽に追記できるようにする。クラウドにデータ入力を行い把握する。	12ヶ月
3	26	・個人ファイルの閲覧により「介護計画」の周知を図っているが、介護計画のサービス内容との整合性が明確になる記録の工夫が望まれる。 ・介護計画の見直し時に、管理者・リーダー・利用者担当職員・計画作成責任者等が話し合った内容を、会議の議事録に残すことが望まれる。また、議事録には、利用者・家族の意向や、医療関係者の意見等も記録に残す事が望まれる。 ・「介護計画」の様式の変更を検討されているので、運用と定着を期待する。	モニタリング様式を活用し、系統立てた介護計画を作成し、より深く入居者様の生活、状況が見える記録を共有し、チームで寄り添う支援を行う事ができる。	前回から継続中。モニタリング様式により、毎月の家人への状況報告を個別に行っているが、担当者を決め進めているがもう少し多職種等の意見、スタッフ間の意見を取り入れ記録に残す。本人、家族の希望、意向を確認し再モニタリングを行っていく。	12ヶ月
4	7	マニュアルの中に、指針に記載すべき内容も含有されてるが、別途に、「高齢者虐待防止指針」等を策定し、委員会・研修の実施頻度等についても記載してはどうか。	高齢者虐待防止指針を確認しながら作成する。	高齢者虐待マニュアルの中に指針が網羅された形になっていたため抜き出し指針を独自に作成する。	6ヶ月
5					
6					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。